

2025 年度 美術学部 芸術学科 出題意図

◆外国語

長文を全文和訳させることで、その論旨を正しく把握できるかどうかを問うています。

英語 問題 1

デューラーの遠近法理論書『測定教本』の構成と特徴について解説した文章です。構文は平易ですが、遠近法理論に対する常識的な知識に即して文章を読み解く必要があります。その上で文章の大意から個々の言葉の意味を汲み取りつつ、とりわけ同書の理論的な側面と実践的な側面に関する記述を正しく把握し、適切な日本語に置き換えることが求められます。

英語 問題 2

20 世紀より前の彫刻（前半）と、20 世紀の前衛的彫刻（後半）の性格の違いを述べた文章です。文意を的確に理解するためのキーワードは representational（再現的、具象的）で、現実の対象（人間、動物など）を再現することを基本性格とする 19 世紀までの彫刻作品と、再現性を問題とせず、素材の構成によって空間を創りだそうとする 20 世紀の彫刻作品を対比的に語っています。細部には具体的な素材に関する見慣れない単語もでてくるかもしれませんが、それらが分からなくとも、文章全体の論旨がつかめていればおおよその確な訳ができるはずで、その点を主要な評価ポイントとしています。

◆地理歴史 日本史

重要語句（人名、事項など）の説明を求める問題です。9 題のうち 5 題を選択して解答します。ある程度の長さの記述問題ですので、知識の正確さに加えて、文章の読みやすさ、論理的明快さ、表現力も評価の対象となります。解答のはじめには各語句の読みがなを記す必要があります。

(1) 刀狩令

安土桃山時代の政治・社会に関する基礎知識を問う問題です。読みがなは、「かたながりれい」です。豊臣秀吉が発布したこの法令について、その主旨と目的、発令の口実、近世の封建社会との関係性を含めた歴史的評価などについて、簡潔に論述することを求めています。正確な発令年代、中世・近世における刀狩りや近代以後の銃刀規制への言及も加点要素として評価しました。主なキーワードは、次の通り。

豊臣秀吉、安土桃山時代、1588 年、農民一揆、兵農分離、方広寺大仏、近世、身分制度

(2) 土偶

縄文時代の文化に関する基礎知識を問う問題です。読みがなは、「どぐう」です。ヒト形の土製品である土偶について、主に制作された時代、造形的特徴、用途に関する推定、特徴的な作例などについて簡潔に論述することを求めています。古墳時代の埴輪との比較論も加点要素として評価しました。主なキーワードは、次の通り。

縄文時代、素焼き、女性、妊娠、デフォルメ、装飾文様、用途、アニミズム信仰、故意に破壊、遮光器土偶、山形土偶、みみずく土偶、ハート形土偶

(3) 自由民権運動

明治時代の政治・社会に関する基礎知識を問う問題です。読みがなは、「じゅうみんけんうんどう」です。板垣退助や後藤象二郎を中心に展開したこの運動について、運動の目的、歴史的な経緯、運動の時期区分と担い手、結果と影響などについて、論点を整理しながらバランスよく論述することを求めています。主なキーワードは、次の通り。

板垣退助、後藤象二郎、江藤新平、副島種臣、征韓論、藩閥政府、尊皇思想、愛国公党、民撰議院設立の建白書、立志社、愛国社、士族民権、大阪会議、国会期成同盟、国会開設の勅諭、私擬憲法、植木枝盛、豪農民権、自由党、立憲改進黨、大隈重信、激化事件、福島事件、加波山事件、秩父事件、大同団結運動、星亨、三大事件建白運動、大日本帝国憲法、帝国議会、普通選挙運動

(4) 隠元隆琦

中国・福建の出身で、明時代末～清時代初頭にかけての禅宗(臨済宗)の高僧です。読みがなは、「いんげんりゅうき」です。福建・黄檗山萬福寺の住職をつとめていましたが、日本に招かれ、将軍徳川家綱に謁見し京都・宇治に寺地を賜り、日本に永住することとなり、同地に福建の寺と同名の黄檗山萬福寺を建立します。隠元のもたらした当時の中国最新の仏教は、江戸時代の仏教各宗派に大きな影響を及ぼしています。

(5) 鎮護国家思想

鎮護国家とは、仏教の力により国家を安定させるという考え方です。読みがなは、「ちんごこっかしそう」です。奈良時代、聖武天皇は疫病や反乱による社会不安を払拭するため、各国に国分寺、国分尼寺を建立させ、次いで東大寺大仏の造立という大事業を進めます。その後の道鏡事件などによる国家と仏教の関係についての疑義、平安京遷都と東寺・西寺の建立、空海らによる国家鎮護の修法を含め、時系列に沿って論述することを求めています。

(6) 神仏習合

神仏習合とは、日本固有の神に対する信仰と、外来の信仰である仏教を、融合・調和・併存させるために唱えられた考え方です。読みがなは、「しんぶつしゅうごう」です。仏を本地(本来の存在)そして日本の神を垂迹(姿を現す存在)とし対応関係にあるとする本地垂迹説が広まりましたが、これに対する度会家行らの反本地垂迹説について、さらにその後の明治時代の神仏分離令まで、関連する重要事項や人物を示しながら論述することを求めています。

(7) 錦絵

読みがなは「にしきえ」です。

錦絵と呼ばれる多色摺木版画について、その技法の成立と特色、またそれにいたる木版技法の変遷を、作品、作者の例を含めて述べることを求めています。江戸時代から近代にいたる動向や、近代版画への影響について記述がおよぶことも望ましいと考えます。

(8) 信貴山縁起絵巻

読みがなは「しぎさんえんぎえまき」です。

絵巻という作品形式の成立について、きわめて重要な示唆を与える作例です。平安時代の作とみなされている他の作例との関係を含めて内容や表現方法、構成などに触れ、その特色と史的な位置付けについて論じることを求めています。

(9) 東求堂同仁齋

読みがなは「とうぐどうどうじんさい」です。

慈照寺東求堂の一室である同仁齋について、その構成としつらえについて記述した上で、それが重要視される理由を日本の建築の構造と歴史的な変化に留意しつつ述べることを求めています。

◆地理歴史 世界史

重要語句（人名、事項など）の説明を求める問題です。9題のうち5題を選択して解答します。ある程度の長さの記述問題ですので、知識の正確さに加えて、文章の読みやすさ、論理的明快さ、表現力も評価の対象となります。

(1) ペレストロイカ（改革）

1986年から当時のソヴィエト連邦（ソ連）でゴルバチョフらを中心に推進された政治改革です。同連邦の社会主義体制の行き詰まりを背景に、その民主化と経済自由化を目指しました。この改革により結果的にソ連は解体され、第二次大戦後半世紀ちかくに渡って存続した冷戦構造も終焉を迎えます。以上のような改革の背景、過程、結果について、具体的な歴史的事項を示しながら正しく説明できている解答に高得点が与えられます。

(2) 焚書・坑儒

中国・秦の始皇帝による思想統制策であり、技術書以外の書籍を焼き、儒者などの学者を生き埋めにして殺すなどの弾圧を行ったとされます。始皇帝の支配体制確立などの時代背景、李斯、法家思想と儒教思想の対立、焚書が行われた書籍の種類などの基本的な事項や年代について正しく、かつ時系列に沿って記されていることがポイントとなります。

(3) アレクサンドリア（エジプト）

ヘレニズム時代からローマ時代、中世を通じて地中海文明の重要な中心都市であった、エジプトのアレクサンドリアの歴史的な意義を問う設問です。とりわけ古代からイスラムの時代に至るまで東地中海の学芸の中心であった同市の、文化都市としての特徴に関する知識がポイントになります。

(4) メキシコ革命

1910年から17年にかけてメキシコで進められた政治革命。ビリャヤサパタらによってディアス独裁政権が倒され、農民も加わった民主的な政治体制が成立しました。近代の中南米史を記述するさいには、まず欧米列強による中南米侵出についての説明が必要です。そのうえでこの革命の推移と結果を正確に記述しましょう。なお関連してメキシコ壁画運動がありますが、文化史を問う問題ではないのでこの運動の記述に対する加点は限定的です。

(5) 市舶司

中国・唐から明代における海外貿易の管理、徴税を担った役所。市舶司が成立した時代背景、唐・宋・

元・明にわたって市船司が置かれた地名、貿易相手などの基本的な事項や年代について正しく、かつ時系列に沿って記されていることがポイントとなります。

(6) アインシュタイン

20世紀前半に活躍した理論物理学者で、相対性理論に代表されるその業績は物理学にとどまらず、広く私たちの時間と空間の認識を変えました。同時に彼のうちたてた理論の一部が第二次大戦中の原爆開発につながったことから、戦後の彼は科学者としての倫理的な責任を負って平和運動に取り組みます。こうした20世紀の歴史における科学の位置づけを踏まえたうえで、具体的な事項を正しく肉付けした解答が高得点となります。

(7) ヴァロワ朝

カペー朝に続き、後期中世からルネサンス時代にかけてフランスを統治した王朝に関する出題です。14世紀から15世紀にかけて行われた百年戦争、それに続くイタリア戦争とフランスのルネサンス運動、カトリックとプロテスタントの抗争と再統一と言った歴史の流れの中でこの王朝が果たした役割に関する記述が求められます。

(8) トマス＝モア

ヘンリー八世時代のイングランドの重要な政治家であるばかりではなく、北方ルネサンスを代表する人文主義者のひとりであったトマス・モアに関する設問です。とりわけ当時のイングランドの社会状況を踏まえた著作『ユートピア』の文化史的な意味や、同じく北方ルネサンスの重要な思想家エラスムスや画家ハンス・ホルバインとの交友について着目した回答がポイントとなります。

(9) 鄭成功

中国・明の滅亡の後、「抗清復明」をかかげて台湾を支配した人物。時代背景、オランダの拠点（ゼーランディア城）への攻撃、清朝による海禁（遷界令）、近松門左衛門による国姓爺合戦のモデルとなったことなどの基本的な事項や年代について正しく、かつ時系列に沿って記されていることがポイントとなります。

◆小論文

この問題は、五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）と芸術の関係についての考えを問うものです。絵画は視覚に対応し、音楽は聴覚に対応するというように、五感のそれぞれに対応する芸術ジャンルがあるという考えを前提に、嗅覚や味覚、触覚に対応する芸術ジャンルはあるかという問いを立てることもできますし、そのように五感のそれぞれに各ジャンルの芸術が対応するという考え方自体を問題にして、視覚において感じられる手触りのような感覚のあり方と芸術の関係を問うこともできます。また、芸術を五感との関係においてのみ捉えることの是非を問うこともできるでしょう。いずれにせよ、この問題においては、五感という切り口によって、人間と芸術の関係そのものを原理的に考えることが求められています。

◆鉛筆素描（石膏像）

今回の鉛筆素描では、石膏像のなかから、通称「ギリシャ婦人」胸像が出題されました。これを、3時間で画用紙に鉛筆で素描します。出題の意図としては、石膏像の素描を通じて、対象の形態および明暗の調子の観察と再現、構図の取り方などの、基礎的な造形表現力を評価するための試験です。限られた時間

での確に石膏像を描写するためには一定の視覚的・造形的訓練が必要ですが、そうした能力を身につけることは、芸術学科の専門領域である美学・美術史の学習・研究にとっても貴重な素養となるのです。